

ごみゼロ新聞

発行／津山市ごみゼロ新聞編集委員会 ☎0868-22-8255

古紙を資源として生かすために、久米支所では 古紙回収ボックスで土・日曜日、祝日も回収しています！

平成23年11月1日から、市と津山再生資源事業協同組合が協力して久米支所に設置した「常設古紙回収ボックス」。これまでに、約75,000kgもの古紙の回収ができました。

市では、ごみ減量を目指し、市民の皆さんが少しでも古紙を出しやすい環境を整えるため、今年4月から、久米支所西駐車場の古紙回収ボックスでの回収を土・日曜日、祝日も行っています。

大切な資源をごみにしないために、ぜひご利用ください。

回収場所 久米支所西駐車場（中北下）

回収物 新聞（新聞折込チラシを含む）・雑誌・雑がみ

回収時間 9:00～17:00

※土・日曜日、祝日も回収します（年末年始を除く）

問合せ先 環境事業所

☎22-8255

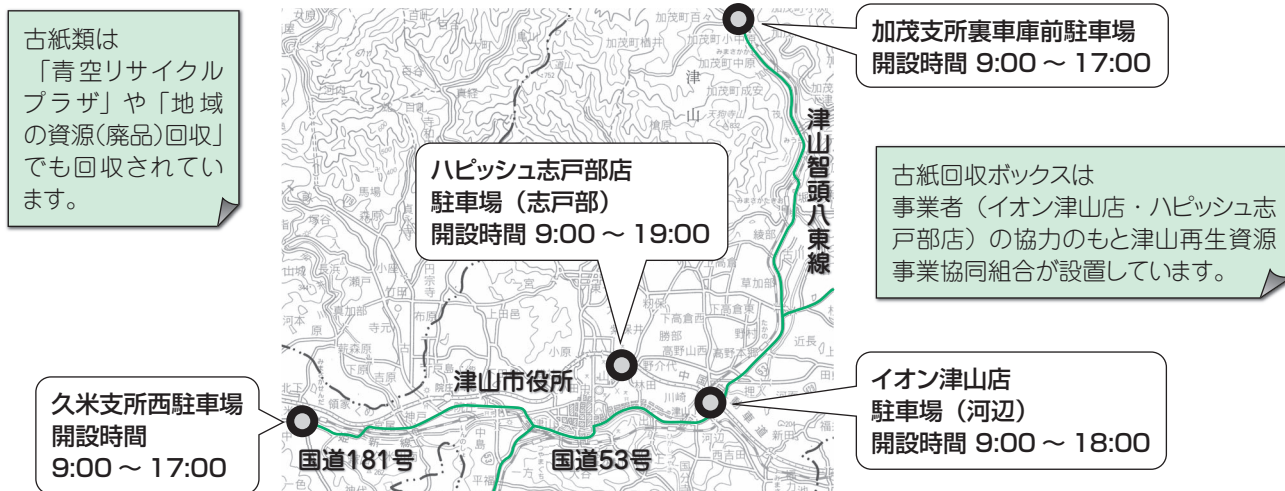
久米支所市民生活課 ☎32-7012



お願い！

- 「新聞」と「雑誌・雑がみ」に分けて、ボックスへ入れてください
- 段ボール・牛乳パックは回収しません
- 個人情報など他人に見られたくないものは、注意して出してください
※個人情報の機密保持等には責任は負えません

古紙回収ボックスマップ



※開閉時間は、諸般の事情により変更になる場合があります。余裕を持ってご利用ください

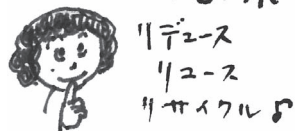
リデュースを考えてみよう

皆さんと協力して循環型社会を作っていくため、津山市第2次ごみ減量行動計画では、**ごみ排出量10%削減**を目標にしています。

現在、可燃ごみには、古紙や古布など資源化できる物が多く入っています。また、不燃ごみの中にも、缶・びん・ペットボトルなどの資源化物が多く入っています。

ごみを減量するためには、リサイクルできる物を分別することが大切です。しかし、リサイクルには多くのコストやエネルギーが必要です。ごみを分別してリサイクルするより、もっと環境に優しく(負担が少ない)、ごみ減量につながる取り組みはないのでしょうか。

ごみを減らす 3R



それは **Reduce : リデュース(減らす)** です

リデュースとは、ごみの発生・排出そのものを減らすことです。リサイクルする資源ごみの発生量を減らすことも、リデュースにつながります。

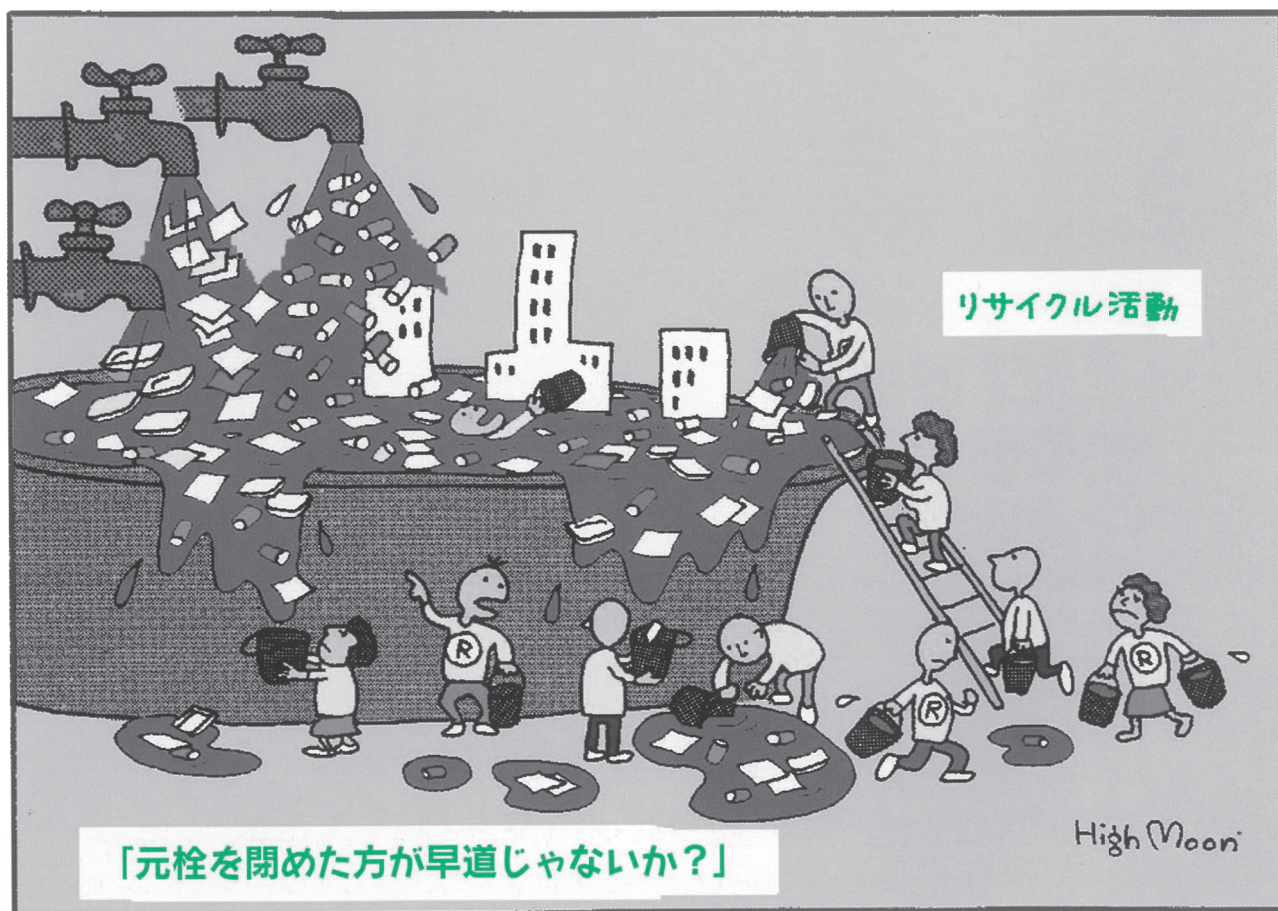
例えば…

商品の包装・容器はすぐにごみになってしまいますが、その包装・容器にも、お金が掛かっています。また、ごみとして排出・処理することにもお金が掛かります。

量り売りや裸売り(包装しない)を利用することは、リデュースにつながります。

わたしたちにできること

- 必要以上に物を買わない、もらわない
- 余分な箱や包装は断る(裸売りの商品を選ぶ)
- 買い物袋を持参する





裸売り (包装しない)



全て包装しないと
ダメですか？



リデュースに気をつけて
いてもごみは出ます。その時は
分別を徹底し リユース・
リサイクルしましょう



必要な分だけ買えて経済的♪



旬のものを
おいしく食べ
残ったもの(調理くず)は
生ごみ処理で堆肥に！
食育にもなりますね



ノントレー(トレー無) トレーの減量化



トレーは
無くても平気
だよ



へえ～
こんな取り組みも
あるんだ



量り売り



様々な色や形のビンやバック
も楽しいけど ごみにならない
リデュース・リユースの方が
いいかも…ね



こんどスーパーで
買ってみようかな

持ち帰りは
もちろん マイバック

リデュースでごみが減れば、ごみ分別やごみ出しの手間・負担も減ります。
買い物や粗品をもらう時に、包装やレジ袋、買った物やもらった物がすぐに不要にならない
が、本当に必要な物がどうかを考えてみましょう。

つやま・エコ・システム 終了に伴う景品交換期限のお知らせ

平成15年、ごみ減量・リデュースを目指して、つやま・エコ・システムが始まりました。

それから10年が経ち、各店舗、各事業者の独自の積極的な取り組みも多くみられるようになりました。そのため、つやま・エコ・システムは、ごみ減量・リデュースのきっかけとしての役割りを果たしたと考え、4月30日をもって終了しました。

景品交換は6月30日まで、以下の店舗で行います。

また、エコシール10枚未満のものも含めて、ユニセフに寄付することも可能です。

ぜひ、ご協力ください。

景品交換が可能な店

マルイ市内各店	FANTIC モリヤス
ハッピーマート・ハピッシュ市内各店	倉持商店
ハピーズ アルネ津山店	久米の里
山陽マルナカ院庄店	サークルK 久米支所前店
ファミリーショップ マエバシ	



景品 エコカード1枚(エコシール10枚分)で、ごみ袋1枚

エコカード2枚(エコシール20枚分)で、トイレットペーパー1ロール

岡山県 統一ノーレジ袋デー

県では、ごみを少しでも減らすため、店舗や市町村などと協力し、毎月10日を「ノーレジ袋デー」、6月と11月を強化月間として、買い物の際にレジ袋をもらわない「マイバッグ持参」を呼びかけています。

皆さんも自分でできるちょっとした**エコ**を
ノーレジ袋デーから始めてみませんか

参加店舗 ステッカーとのぼり旗が目印です



情報掲示板

○生ごみ・紙ごみリサイクル教室 ～グループの年間行事の1つにいかがですか？～

家庭でできる生ごみの堆肥化や「ボカシ」の作り方、紙ごみのリサイクルについて、市が専門の講師を無料で派遣しています。 ※おおむね20人程度の参加が必要です

○リサイクルアドバイザー派遣 ～事業所の皆さま向け～



おため講座♪

紙ごみの減量やリサイクルに取り組もうとする事業所に「リサイクルアドバイザー」を無料で派遣します。アドバイザーが店舗や事務所、工場を訪問し、事業所に合った紙ごみの分別の仕方など助言や指導を行います。社員研修の講師としてもご利用ください。

問い合わせ・申し込み 津山市環境事業所 〒708-0863 津山市小桁401-15 ☎22-8255

ごみゼロ新聞へのご意見・
ご要望をお寄せください。

『津山市ごみゼロ新聞編集委員会』

津山市環境事業所 Tel 22-8255 Fax 23-7055
E-mail : gomizero@city.tsuyama.okayama.jp

